

和歌山県立和歌山工業高等学校(全) 通し番号 H001

教科	国語	科目	現代の国語	履修学年	1年
単位数	2	科	全科	担当者	

教科・科目 の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。実社会に必要な国語知識や技能を身につけさせる。論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者に対する伝える力を高める。言語価値への認識を深め、読書に親しみ、自己を向上させるとともに我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 ・教材等	<p>新編現代の国語 (数研出版)</p>
評価の観点 と その方法	<p>「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を観点として評価する。</p> <p>評価の方法</p> <p>定期考査・小テスト・授業時の観察で評価・提出物などにより、総合的に判断する。</p>
学習方法・ 学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を深く読み込み、内容を的確に理解する授業を展開する。 ・意見文や作文を随時に行い、その定着を図る。 ・調べ学習や発表、スピーチを行う。 ・日常的に漢字学習を行う。
履修者への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や内容に応じたさまざまな読み方を通して、文章の読解、鑑賞を深め、人間社会、自然などについて、自分の考えを深めたり発展させたりすることができるようになること。 ・文章や作品を読んで要約したり、感想をまとめたり、自分の考えを筋道を立てて話したりすることができるようになること。

令和5年度学習進度予定表

期	月	学習項目	学習内容	到達目標
一学期	4月	「目指す世界の地図を作る」 鴻上尚史	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係に注意しながら読む。 抽象的見解とそれに対応する具体例を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の意図をつかみ本文を要約する力を身につける。 <p style="text-align: right;">中間考査</p>
	5月	「時間とは何か」 池内了	<ul style="list-style-type: none"> 指示語、対比関係、因果関係に注意して読む。 接続詞に注意しながら本文展開を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> やさしめの時間論を通して抽象的見解を理解する。 時間についての認識を新たにし、日々の過ごし方について考察する。
	6月	「地球を旅する水の話」 大西健夫	<ul style="list-style-type: none"> 水の循環の説明の後、水と人との関わり合いを述べた文章で指示語、対比関係に注意しながら文章展開を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 水という身近な題材から抽象的見解を読み取り、さらにそれを具体化して理解することにより、未来の自らの行動について考察する。 <p style="text-align: right;">期末考査</p>
	7月			
夏季休業				
二学期	9月	「水の東西」 山崎正和	<ul style="list-style-type: none"> 東西の文化の相違というものを水というきわめて身近な存在を通してその一面を見るという発想に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の比較文化論や日本文化、日本人に対する考え方について整理する。
	10月	「世間話はなぜするか」 松井智子	<ul style="list-style-type: none"> 指示語の内容を確認し、丁寧に読解する。 言葉を通じたコミュニケーションの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活の中で、円滑なコミュニケーションのために注意したい知識を身につける。 <p style="text-align: right;">中間考査</p>
		「語感トレーニング」中村明	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な具体例を通して日本語の特性について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語的教養を身につけ、「書くこと」「話すこと」に応用できるようにする。
	12月	「科学と非科学」中屋敷均	<ul style="list-style-type: none"> どのような点に「科学」と「非科学」の違いがあると主張しているかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の意見に対して自分がどのように考えるか、根拠を示しながら論理的に述べることができるようにする。 <p style="text-align: right;">期末考査</p>
冬季休業				
三学期	1月	「差という情報」佐藤雅彦	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な体験をもとに、「差」という観点から展開される筆者の思考と過程を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の結論を踏まえて「差」が持つ意味を考察できるようにする。
	2月	「わらしべ長者の経済学」 梶井厚志	<ul style="list-style-type: none"> 身近な昔話から経済学的な普遍性を論じた本文を読み、筆者の意図をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「経済学的な普遍性」について自分の考えを持ち、纏めることができる。
	3月			学年末考査
春季休業				

教科	国語	科目	言語文化	履修学年	1年
単位数	2	科	全科	担当者	

教科・科目 の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。実社会に必要な国語知識や技能を身につけさせる。論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者に対する伝える力を高める。言語価値への認識を深め、読書に親しみ、自己を向上させるとともに我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 ・教材等	新編言語文化（数研出版）
評価の観点 と その方法	「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を観点として評価する。 評価の方法 定期考査・漢字小テスト・その他の小テスト・授業時の観察で評価・提出物などにより、総合的に判断する。
学習方法・ 学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を深く読み込み、内容を的確に理解する授業を展開する。 ・意見文や作文を随時に行い、その定着を図る。 ・調べ学習や発表、スピーチを行う。 ・言語に対する知識の充実を図るため漢字学習を行う。
履修者への メッセージ	<p>授業について 教科書の内容を深く理解するために、しっかりと授業を受けること。 進んで発表などを行い、授業に積極的に参加する態度を見せること。</p> <p>定期考査等 テストの成績も重要だが、日ごろの授業への取り組みや課題内容も評価する。</p>

令和5年度学習進度予定表

期	月	学習項目	学習内容	到達目標
一学期	4月	小説 「舟を編む」三浦しをん	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を定義することの難しさを実感し、2人の登場人物のやりとりを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 性格が異なる二人の登場人物のやりとりを味わう。言葉に対する認識を深める。
	5月	古典 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 『今昔物語集』 「検非違使忠明」	<ul style="list-style-type: none"> 古典に親しみを持ち、古典作品を読む楽しさを実感する。 語彙や仮名遣い、表現の仕方などの違いがあることに気づき、古典の世界へと一歩入り込む。 	<p>中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文の五十音図を書けるようにする。平易な古文をしつかり理解する。
	6月	小説 「羅生門」 芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心理や場面描写、構成などに注視し、正確な読解能力と想像力を身につける。 作品の主題をとらえ、様々な状況で生きる人間への認識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の構成を適切につかめる。登場人物の心理が読み取れる。
	7月			<p>期末考査</p>
夏季休業		読書感想文 サマーテキスト		
二学期	9月	詩 「六月」 茨木のり子 「サーカス」 中原中也	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすい詩を読んで、詩に親しむ。 詩歌の多様な表現力に気付く。 表現に即して作品の世界を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成やリズムを音読することによって体験する。詩歌に描かれている情景や作者の心理を鑑賞する力を養う。
	10月	漢文 訓読、格言 故事成語「漁夫の利」	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基礎的な知識を得る。 漢文が読まれてきた経緯について理解する。 訓読に必要な事項を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基本的な訓読が出来るようになる。 故事成語の正しい意味を理解する。
	11月	古典 『徒然草』 「高名の木登り」 『伊勢物語』 「芥川」	<ul style="list-style-type: none"> 馴染みのある物語を通して、古人の感覚や思想に触れ、作品のおもしろさを味わう。 古文の決まりについて、解釈と関わらせながら、関心を深める。 	<p>中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文の語彙や文法に慣れ、適切な現代語訳が出来るようになる。
	12月			<p>期末考査</p>
冬季休業				
三学期	1月	短歌 俳句	<ul style="list-style-type: none"> 短歌や俳句に親しむ。 季語や様々な表現技法を学び、表現の多様性を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞できる力を身につける。 自分でも作品作りができるようになる。
	2月	小説 「清兵衛と瓢箪」 志賀直哉	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の性格を他の登場人物との関係を通して読解する。 場面の推移や心理の変化を捉え、登場人物の抱いた気持ちについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の置かれている状況や考え方、心情の変化、場面の推移が読み取れる。
	3月			<p>学年末考査</p>
春季休業				

教科	国語	科目	論理国語	履修学年	2
単位数	2	科	全科	担当者	

教科・科目 の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。 ・実社会に必要な国語知識や技能を身につけさせる。 ・言語価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 ・教材等	新編論理国語 (東京書籍)
評価の観点 と その方法	<p>「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を観点として評価する。</p> <p>評価の方法 定期考査・小テスト・授業時の観察で評価・提出物などにより、総合的に判断する。</p>
学習方法・ 学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を深く読み込み、内容を的確に理解する授業を展開する。 ・意見文や作文を随時に行い、その定着を図る。 ・日常的に漢字学習を行う。
履修者への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や内容に応じたさまざまな読み方を通して、文章の読解、鑑賞を深め、人間社会、自然などについて、自分の考えを深めたり発展させたりすることができるようになること。 ・文章や作品を読んで要約したり、感想をまとめたり、自分の考えを筋道を立てて話したりすることができるようになること。 ・テストの成績も重要だが、日ごろの授業への取り組みや課題内容も評価する。

令和5年度学習進度予定表

期	月	学 習 項 目	学 習 内 容	到 達 目 標
一学期	4月	『世界をつくり替えるために』 小林康夫 『少女たちの「ひろしま」』 梯久美子	<ul style="list-style-type: none"> ・「対話」と「おしゃべり」の違いを読み取り、「対話成立のポイント」が何か理解する。 ・筆者が「対話」の意義をどのように捉えているかまとめる。 ・三つに分かれたそれぞれの部分の話題に注意しながら読む。 ・被爆死した女性たちと筆者をつなぐ「回路」の意味を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 <p style="text-align: right;">中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。 <p style="text-align: right;">期末考査</p>
	5月			
	6月			
	7月			
夏季休業				
二学期	9月	『ラップトップ抱えた「石器人」』 長谷川真理子 『思考の肺活量』 鷺田清一 『複数の「わたし」』 松村圭一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルに込められた筆者の思いや、事例と主張を読み取る。 ・論の展開に注意しながら読む。 ・「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。 ・「別の『わたし』」が「他者」によって引き出される」とは、どのようなことか、読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。 ・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 ・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。 <p style="text-align: right;">中間考査</p> <p style="text-align: right;">期末考査</p>
	10月			
	11月			
	12月			
冬季休業				
三学期	1月	『楽に働くこと、楽しく働くこと』 小関智弘	<ul style="list-style-type: none"> ・近代工場での労働の「楽さ」と「楽しさ」についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。 <p style="text-align: right;">学年末考査</p>
	2月			
	3月			
春季休業				

教科	国語	科目	現代文A	履修学年	3年
単位数	2	科	全科	担当者	

教科・科目 の目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、物の見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書 ・教材等	現代文A（東京書籍）
評価の観点 と その方法	<p>評価の観点 読解力・理解力・聞く能力 表現力・語彙力</p> <p>評価の方法 定期考査・漢字テスト・その他の小テスト・提出物・授業中の態度 などにより、総合的に判断する。</p>
学習方法・ 学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を深く読み込み、内容を的確に理解する授業を展開する。 ・意見文や作文を随時に行い、その定着を図る。 ・調べ学習や発表、スピーチを行う。 ・日常的に漢字学習を行う。
履修者への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や内容に応じたさまざまな読み方を通して、文章の読解、鑑賞を深め、人間社会、自然などについて、自分の考えを深めたり、発展させたりすることができるようになること。 ・文章や作品を読んで、要約したり、感想をまとめたり、自分の考えを筋道を立てて話したりすることができるようになること。

令和5年度学習進度予定表

期	月	学習項目	学習内容	到達目標
一学期	4月	随想 「さくらさくらさくら」 俵万智	<ul style="list-style-type: none"> 印象に残った点などを述べ合う。 日本と外国との感じ方、考え方の違いを理解する。 登場する人間関係を図にしてまとめる。 登場しない人物の存在について話し合ってみる。 各段落で取り上げられている事柄や問題に注意して読解を進める。 筆者の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 随想という日本古来の伝統的文芸ジャンルのおもしろさを理解する。 日常生活の中でちょっとした発見から考えが発展することを理解する。 登場する人物の心理を読み取り、さまざまな人間の存在を理解する。
	5月	小説 「ナイン」 井上ひさし		
	6月	評論 「ミロのヴィーナス」 清岡卓行		
	7月			
夏季休業		読書感想文		
二学期	9月	小説 「山椒魚」 井伏鱒二	<ul style="list-style-type: none"> 山椒魚の心理変化を、順を追って理解する。 情景描写や心理描写に着目し、表現の効果を理解する。 人生においては簡単に解けない問題に出会うことが多いが、その時にどのような思考をするかを話し合ってみる。 粘り強く「論理的に考える」力を身につける方法とその重要性をまとめる。 声量、速度、間等の基本的な注意点を確認し、詩を朗読する。 	<ul style="list-style-type: none"> 山椒魚の置かれた状況と心理状況を理解する。 小説における比喩や象徴的な表現を理解する。 評論に使われる特殊な用語、難解な表現を理解する。 作者の主張、意見を正確に読み取る。 朗読について理解し、工夫して朗読する。 詩の修辞法を理解する。 朗読を通じて詩の理解を深める。
	10月	評論 「思考の肺活量」 鷺田清一		
	11月	言語活動 「朗読して味わう」		
	12月			
冬季休業				
三学期	1月	小説 「山月記」 中島敦	<ul style="list-style-type: none"> 印象に残った点などを述べ合う。 主人公の描かれ方を正確に読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説のおもしろさを理解する。 さまざまな視点からの考えや感想があることを理解する。
	2月			
	3月			
春季休業				